数学

正負の 数の かけ算・わり算

なまえ

答えの 符号(ふごう)を 先に 決めてから、計算しましょう。

やりかた



かけ算の 符号、
＋か －か まようよね。
ぼくも ここで よく 止まるよ。
先に 符号を 決めて、あとから
数を 計算すれば だいじょうぶ。

$(-3) \times (-4) = +12$

$(+12) \div (-3) = -4$

① 答えの 符号を 先に 決める
　－が 1こ・3こ → －、2こ → ＋

② 符号を とった 数どうしを 計算する

1　かけ算を しましょう。

① $(+3) \times (-5) =$ □

② $(-4) \times (-6) =$ □

③ $(-7) \times (+2) =$ □

④ $(-1) \times (-9) =$ □

⑤ $0 \times (-8) =$ □

⑥ $(-6) \times (-5) =$ □

2　わり算を しましょう。

⑦ $(-18) \div (+3) =$ □

⑧ $(+20) \div (-4) =$ □

⑨ $(-36) \div (-9) =$ □

⑩ $0 \div (-5) =$ □

3　計算しましょう。（右上の 小さな 数は、かける 回数）

⑪ $(-3)^2 =$ □

⑫ $-3^2 =$ □

⑬ $(-2)^3 =$ □

⑭ $-(-4)^2 =$ □



ご家庭・学校・療育の場でご自由にお使いください。再配布・販売はご遠慮ください。

数学

正負の 数の かけ算・わり算

こたえ

答えの 符号(ふごう)を 先に 決めてから、計算しましょう。

ここに 気を つけよう



よく 見ると、$(-3)^2$ と -3^2 を 同じ 答えに して しまう ことが 多いよ。
$(-3)^2$ は $(-3)\times(-3)$、-3^2 は $-(3\times3)$。かっこの 中まで 2回 かけるかを 見よう。
とちゅうまで 合って いたら、それも 大事な 一歩だよ。

1　かけ算を しましょう。

① $(+3) \times (-5) =$ -15

② $(-4) \times (-6) =$ $+24$

③ $(-7) \times (+2) =$ -14

④ $(-1) \times (-9) =$ $+9$

⑤ $0 \times (-8) =$ 0

⑥ $(-6) \times (-5) =$ $+30$

2　わり算を しましょう。

⑦ $(-18) \div (+3) =$ -6

⑧ $(+20) \div (-4) =$ -5

⑨ $(-36) \div (-9) =$ $+4$

⑩ $0 \div (-5) =$ 0

3　計算しましょう。（右上の 小さな 数は、かける 回数）

⑪ $(-3)^2 =$ $+9$

⑫ $-3^2 =$ -9

⑬ $(-2)^3 =$ -8

⑭ $-(-4)^2 =$ -16

このプリントで育つ力：マイナスの数の個数から答えの符号を決め、かけ算・わり算・累乗(るいじょう)をする力



しょうとくクラブ 無料学習プリント　www.emina-base.com/shotokuclub/prints
ご家庭・学校・療育の場でご自由にお使いください。再配布・販売はご遠慮ください。